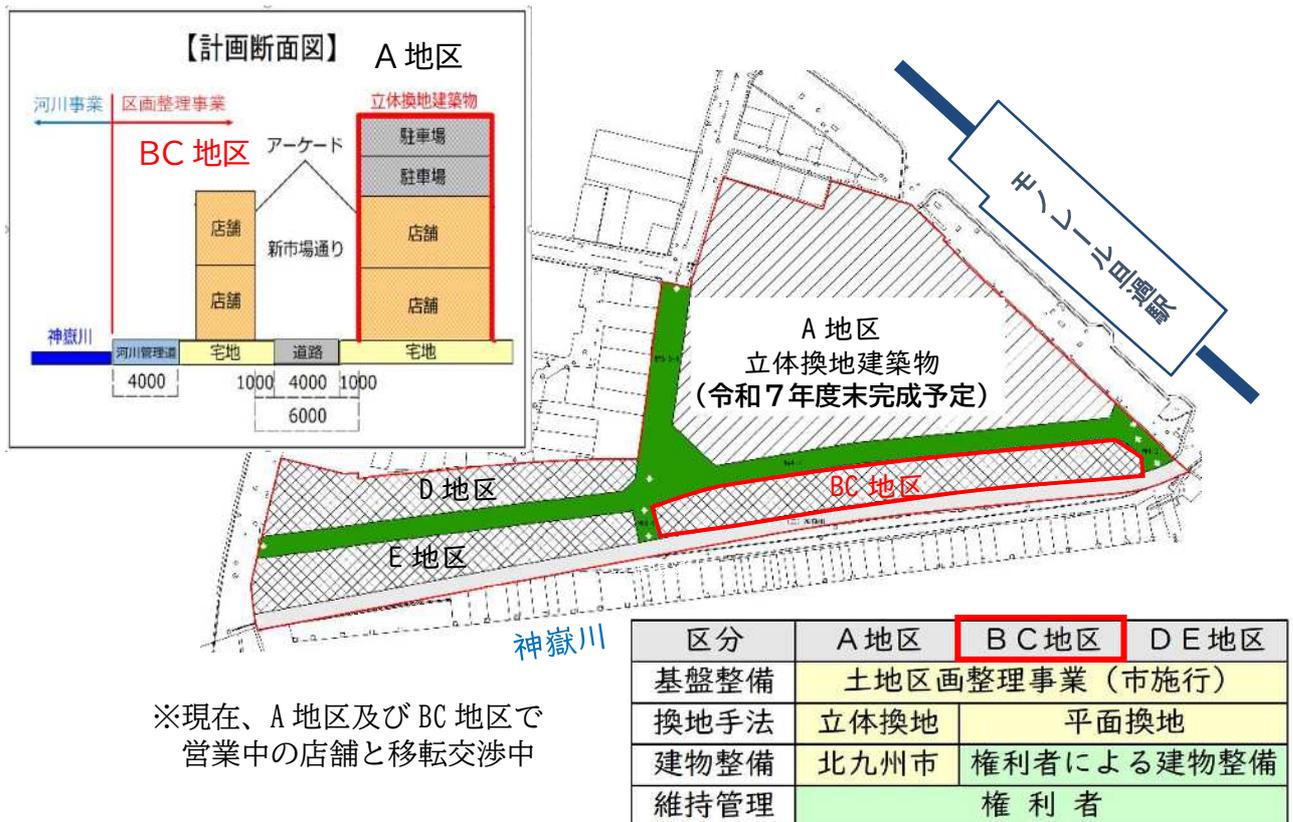


## 旦過地区再整備事業に関する状況報告

### 1 旦過地区再整備事業（令和9年度完了予定）の概要

旦過地区再整備事業は、旦過地区に隣接する神嶽川の氾濫による浸水被害や木造建物の密集・老朽化など、地区が抱える防災面の課題を解決するため、神嶽川の「河川改修事業」と旦過地区の「土地区画整理事業」を一体的に実施し、防災安全性の向上を図るとともに、小倉都心部のさらなる賑わい創出を目指す。



### 2 北九州市立大学の新学部設置の要望等の経緯について

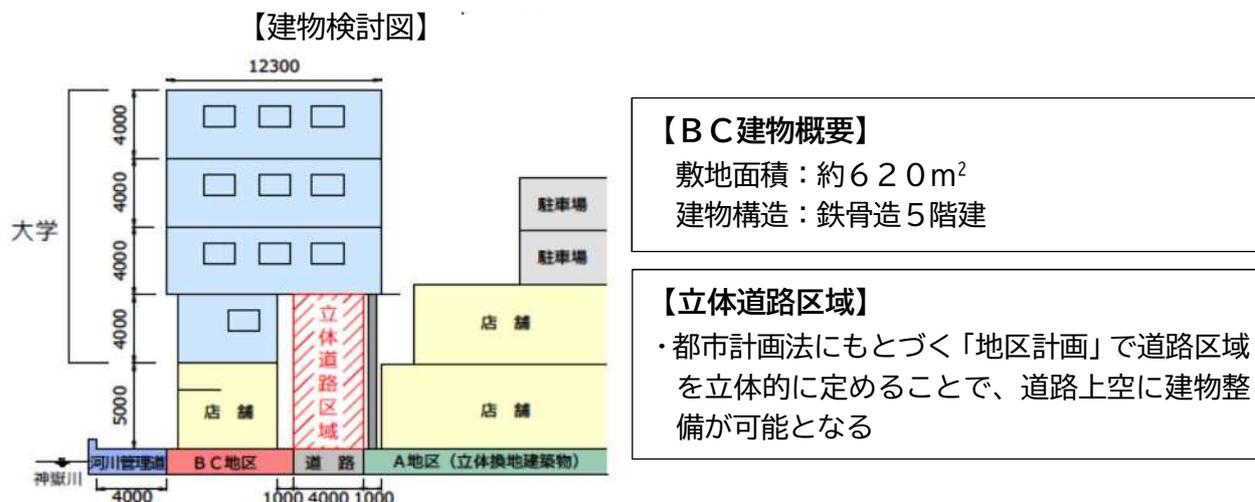
- 令和6年1月30日 大学から市へ「北九州市立新学部設置について」要望書提出（「小倉都心部での設置」について、市に協力を要請）
- 令和6年1月31日 旦過市場役員が、市建設局に大学誘致の相談（BC地区が新学部の候補地となる可能性について）
- 令和6年2月26日 旦過市場との大学連携等に関する意見交換会（旦過市場主催、大学・市建設局参加）
- 令和6年3月12,13日 旦過市場が、臨時総会で大学誘致を意思決定
- 令和6年3月15日 旦過市場が、大学及び市へ要望書提出「旦過市場の今後のにぎわいづくりにかかる北九州市立大学との連携強化について」

### 3 旦過地区再整備区域における北九州市立大学の整備イメージ

#### (1) 北九州市立大学 新学部概要

学部名称 (仮称) 情報イノベーション学部

入学定員 118名 (収容定員472名) 開設時期 令和9年4月予定



### 4 BC地区へ新学部が設置される場合の再整備事業への影響

#### (1) 事業費

BC地区は権利者による建物整備であるため、再整備事業費は変更なし。

#### (2) 事業スケジュール

旦過地区再整備事業は、現計画どおり令和9年度末の完成を予定

### 5 期待される効果

#### (1) 小倉都心部のにぎわい創出

大学関係者約500名に加え、デジタル関連企業の都心回帰が期待できる

#### (2) 旦過市場と北九州市立大学の連携強化

- ・多くの若者が長期間にわたり、旦過市場と関わりを持ち、「次の100年に旦過市場を繋いでいく」ことを目指す、大きな力となる
- ・デジタル化への連携や大学施設の利用、学生のイベント参加など、幅広い連携が期待できる

### 6 今後のスケジュール

令和6年度 既存建物解体/埋蔵文化財調査/立体換地建築物整備着手 (A地区)

令和7年度 立体換地建築物整備完了 (A地区)

令和8～9年度 D・E地区整備

※BC地区建物整備/新学部開校 (※大学設置の場合)

## 北九州市立大学の新学部について

## 1 これまでの経緯

令和5年4月 助成事業公募開始

7月 助成事業選定

令和6年1月30日 大学から市へ

「北九州市立大学新学部設置について」要望書提出

(内容：小倉都心部での設置)について、市に協力を要請)

2月26日 旦過市場との大学連携等に関する意見交換会(旦過市場主催)

3月15日 旦過市場から、大学及び市へ「旦過市場の今後の  
にぎわいづくりにかかる北九州市立大学との連携強化に  
ついて」要望書提出

(内容：旦過市場での新学部設置や組合活動、

にぎわいづくりなどの地域活動面でのより一層の連携推進)

3月21日 総務財政委員会への報告

## 2 大学が求める要件等

## (1) 施設要件

- ①延べ床面積が、概ね4,000㎡(収容定員：472名)
- ②教室に採光できる基準値以上の窓があること【建築基準法】
- ③建物が耐火建築物であること【建築基準法】

## (2) 大学の新学部運営に必要な要件

- ①地元のIT企業等との連携(ジョブ型インターンシップ等)が促進できる  
小倉都心部での立地であること
- ②北方キャンパスとの移動が容易であること
- ③交通アクセスが良好で、学生にとって利便性の高い環境であること

## (3) その他

開設時期：令和9年4月                      など

## 3 今後の対応

今後は、大学による設置場所の早期決定に向け、必要な支援を行いながら、関係者と協議を行っていく。

## 参 考

### 1 新学部の概要（予定）

- (1) 学部名 （仮称）情報イノベーション学部  
入学定員 118名（収容定員 472名）
- (2) 学科名・養成する人材
  - ア （仮称）情報エンジニアリング学科（入学定員68名）  
⇒情報工学の先端技術を駆使する高度人材
  - イ （仮称）共創社会システム学科（入学定員50名）  
⇒GX 推進や地域社会の課題解決に寄与するデジタル人材
- (3) 学 位 学士（情報工学）
- (4) 開設時期 令和9年4月

### 2 新学部の特色（予定）

実社会が求める即戦力人材を養成するため、市内企業と連携し、実際のビジネスにおける課題解決能力を身につけるべく、より実践的な教育を展開する。

具体的には、市内企業との連携のもとで、以下の教育プログラムを実施する予定。

- (1) 実際のビジネス課題をもとに行う課題解決型学習
- (2) 学生が長期で市内企業の日常業務に就き、専門的な職業経験を積むジョブ型（長期型）インターンシップ
- (3) 起業マインドを醸成し、起業に関する専門知識等を学ぶアントレプレナーシップ教育
- (4) 地元企業の技術者・専門家による講義 等

### 3 大学の要望

○北九州市立大学から北九州市に要望書の提出（令和6年1月30日）

連携企業とのアクセスが良く、北方キャンパス間の移動が容易であり、小倉駅等主要な交通拠点からのアクセスが良いことから、

「IT 企業等が集積する小倉都心部（できればモノレール旦過駅周辺）に新学部校舎の設置」を希望している。

### 4 旦過市場からの要望

○旦過市場関係者から北九州市及び市立大学に要望書の提出（令和6年3月15日）

「北九州市立大学新学部の旦過市場内（BC 地区）への設置」、

「組合活動やにぎわいづくりなどの地域活動面でのより一層の連携推進」を希望している。